

第13回資料保存シンポジウム

文化資料のゆくすえ

— 令和に期待するもの —

開催趣意書

情報保存研究会（JHK）と公益社団法人日本図書館協会は、これまで12回に渡り、資料保存というテーマでシンポジウムを開催してまいりました。おかげさまでいずれもご参加の皆様からご好評をいただきました。

今年も第13回資料保存シンポジウムを開催いたします。今回のシンポジウムは、「文化資料のゆくすえ — 令和に期待すること — 」というテーマで開催いたします。平成という一つの時代が終わり、新しい年号の令和が始まりました。自然災害や異常気象のなかで守り継いだ文化資料と平成で生まれた新たな資料を受け継いでいくことが私たちの使命です。私たちの17年間のアンケート調査では、デジタル化の波は確実に押し寄せ、SNSや記録メディアなどにみられるように文化そのものが変わろうとしています。今回は、基調講演に国立公文書館 加藤丈夫館長、特別講演に東京国立博物館 田良島哲氏、青山学院大学 小田光宏氏（日本図書館協会 新理事長）の方々に、現在の資料保存の課題や新しい時代への提言、令和に期待することなどをお話していただく予定です。

また、ご好評をいただいています「資料保存実用講座」もシンポジウムの後半に設けます。実用講座は、資料保存にかかわる情報保存研究会の会員企業が、さまざまなツールやシステム、具体的な作業のノウハウについてプレゼンテーションをさせていただきます。また、会場ホールにおきましては会員企業の展示会を併せて開催いたします。シンポジウムに参加される方々と資料保存の専門業者と直接、情報交換をできる場となっています。

以上、第13回資料保存シンポジウムの詳細は下記に示したとおりです。

皆さま方のご賛同、そしてご参加を心よりお願い申し上げます。

情報保存研究会（JHK）

会長 榊 満塁

〒153-0043 東京都目黒区東山 3-1-19-1001

(株)ブリッシュ気付

info@e-jhk.com

公益社団法人日本図書館協会

理事長 小田 光宏

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14

記

名 称：第13回資料保存シンポジウム

テーマ：文化資料のゆくすえ ―令和に期待するもの―

日 時：令和元年（2019年）10月15日（火）9：30（開場） 10：00～18：00

会 場：一橋大学 一橋講堂中会議場（学術総合センター2階）

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A8・A9 出口）徒歩 4 分

東京メトロ東西線 竹橋駅（1b 出口）徒歩 4 分

プログラム：予定

○10：00～10：10 : 開催挨拶

○10：10～11：00 : 特別講演1 青山学院大学 教授 小田光宏氏（日本図書館協会新理事長）

○11：10～12：00 : 特別講演2 東京国立博物館 田良島 哲氏

12：00～13：30 お昼休み及び企業展示見学

○13：30～14：20 : 基調講演 国立公文書館 館長 加藤丈夫氏

○14：30～17：00 : 資料保存実用講座（出展企業による資料保存のプレゼンテーション）

○10：00～18：00 : 情報保存研究会の会員企業による展示会

○17：50～18：00 : 閉会挨拶

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立大学図書館協会、私立大学図書館協会、

全国大学史資料協議会、文化財保存修復学会、ARMA東京支部、企業史料協議会、

記録管理学会、日本アーカイブズ学会、アート・ドキュメンテーション学会、

専門図書館協議会、デジタル情報記録管理協会、日本写真学会

デジタルアーカイブ学会、日本博物館学会（後援予定：昨年後援頂きました。順不同）

事務局：情報保存研究会事務局

〒153-0043 東京都目黒区東山 3-1-19-1001 (株)ブリッシュ気付

Eメール：info@e-jhk.com

Home Page：www.e-jhk.com

担当：中馬秀行

以上